

平成19年度都留文科大 市民公開講座

千年を生きる源氏物語〜多様な展開〜

源氏物語の成立過程は謎につつまれていますが、世間に流布するや、天皇や歌人の大御所といった当時の男性知識人たちは洞察力鋭く読んで魅せられ、14歳の少女も夢中になって読んだことは知られています。

作品の生命は深く読めば読むほど輝いてくるものです。でも、源氏物語の場合、どんな読みのレベルであつても、面白さを味わうことができます。だからこそ一千年もの長い間、読み継がれ生き続けて来て、世界の文学にもなりえたのでしよう。

わずか4回の講座ですが、異なる時代から源氏物語のさまざまな魅力について、その一端を紹介していきたいと思ひます。

第1回

「源氏物語の原点

〜光源氏と女君たち〜

日時 10月10日(水)午後7時〜9時

場所 大学付属図書館 4階学習室

講師 加藤静子(国文学科教授)

概要 源氏物語は天皇4代70余年と歴史的な世界を虚構によりうち立てました。作品のいわば原点について注目しお話しします。対象とするのは「桐壺」

「若紫」巻を中心に「花の宴」巻までです。桐壺巻は、現実の掟にあらがう男女の姿を、人間の内面の問題から始発させて描き、光源氏を誕生させました。

母の面影を慕う光源氏、そして関わり合う女君たちの生き様を、物語の方法という観点から、まずは見ていきたいと思ひます。

第2回

「源氏物語の光と色

〜万葉からの文学的系譜〜

日時 10月17日(水)午後7時〜9時

場所 大学付属図書館 4階学習室

講師 鈴木武晴(国文学科教授)

概要 源氏物語は、万葉時代からの文学的要素を受け継いでいると考えられます。とりわけ、光と色は、その重要要素で、光源氏の光り輝くという美

質は、源氏物語以前では、竹取物語のかぐや姫に見られます。しかし、さらに遡って古事記の衣通郎女や常陸風土記の奈美松・古津松伝説の男女などに見られます。そのうち、衣通郎女は、同母兄の軽太子と密通し、愛を全うします。密通という点も光源氏と共通しています。それゆえ、紫式部はこの衣通郎女の密通物語を心得ていたと考えられ、光源氏的美質と本質に万葉の衣通郎女的美質と本質を投影させ、衣通郎女の女性像に対して光源氏という男性像を造形したのだと考えられます。

他の要素「色」についても考察します。

第3回

「おもしろおかしい江戸の源氏」

日時 10月24日(水)午後7時〜9時

場所 大学付属図書館 4階学習室

講師 楠元六男(国文学科教授)

概要 中世の注釈書で精緻をきわめた「源氏物語」解釈は江戸になって出版という技術により庶民化・普遍化の流れをたどります。注釈書も北村季吟の「湖月抄」に明らかであります。源氏流布に貢献しています。他方、梗概本も多く、幼児の読み物のようなスタイルも出現し、こうした通俗化に対応する江戸時代の文学も独特の展開をみせるようになります。俳諧や浮世草子、さらには後期文学にいたるまで、多様な「源氏物語」の影響が観察されるようになります。こうした展開の詳細を「寓言論」という不思議な考え方を中心にすえて、しばらく展望していきます。

第4回

「近代文学の中の源氏物語

日時 10月31日(水)午後7時〜9時

場所 大学付属図書館 4階学習室

講師 古川裕佳(国文学科講師)

概要 二人の作家を例に近代文学に対する「源氏物語」の影響について考えます。谷崎潤一郎は三度現代語訳を試みていますが、それは単なる移し替えや紹介ではなく、源氏から文体や構成へのヒントをつかみ出そうとする挑戦でありました。また、「直接」源氏物語に触れたものでなくても、源氏がまいた物語の種を利用して生まれた作品もあります。志賀直哉の作品を例に、隠れている源氏の物語要素を探り、新しい読みの世界を開いてみたいと思ひます。

「コミュニケーション・カレッジ講座

「もっとパソコンを活用してみよう!」

パソコンを使って画像や映像を利用したもの作りに挑戦します。

講師 杉本光司(情報センター教授)

場所 大学2号館 4階 402教室

定員 40名

第1回 デジカメで撮影した写真を加工しよう

日時 10月18日(木)午後7時〜9時

第2回 年賀状と住所録を作ろう

日時 10月25日(木)午後7時〜9時

第3回 デジタルビデオで撮影した映像を編集してみよう

日時 11月8日(木)午後7時〜9時

第4回 動きのある楽しいカードを作ってみよう

日時 11月15日(木)午後7時〜9時

第5回 動きのあるホームページを作ろう

日時 11月22日(木)午後7時〜9時

共通事項

申込方法 聴講ご希望の方は次の連絡先に電話、ファックスまたはホームページから各講座開催日の3日前までにお申し込みください。

また、当日参加の受け付けもしますのでご利用ください。

申込・問合先

都留文科大 総務課企画広報担当

TEL (43) 4341(代)

FAX (43) 4347

Eメール kouho@tsuru.ac.jp

URL http://www.tsuru.ac.jp